



弁護士深草徹の「ここがポイント」

幸福追求権

深草 徹



憲法 13 条は、次のように定めています。

すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

太字の部分は、一般に幸福追求権と呼ばれています。

2014 年 7 月 1 日の安倍内閣閣議決定と 2016 年 3 月 29 日施行の安保法制（改正武力攻撃事態法及び改正自衛隊法）は、他国防衛に等しい集団的自衛権に基づく武力行使を、この幸福追求権を拠り所に発動できることにしました。

従来も政府は、憲法 9 条にかかわらず、自衛権行使のための必要最小限度の実力を保持し、武力行使ができる、とする拠り所として、憲法 13 条に言及することがありました。

しかし、これを真正面にふりかざすことには謙抑（けんよく＝へりくだって控えめにすること）的でした。武力行使は、しょせん人の命を奪うこと。幸福追求権などと高唱することに、違和感があったのでしょうか。

幸福追求権は、魔法の杖です。

国民の側が、その伸長を図るとき、それは社会進歩の力となります。

しかし、政府がこれを強調するときは、悪用になることが多いのです。

（九条の会.ひがしなだ共同代表 深草憲法問題研究室主宰）

「猫は生きている」上映会

「実行委員会」方式で成功、高評価でも一方で苦言も

幻の反戦映画の傑作といわれる人形劇映画「猫は生きている」の上映会を 12 月 3 日（土）、「実行委員会」方式で開催し、幾多のご協力を得て、成功をおさめることができました。映画人 9 条の会、人形劇団京芸、「工房太郎」をはじめ各 9 条の会、ママの会、映画サークル協議会、子どもを守る会、退職教職員の会、市民社会フォーラムなど多様な結びつきが、底力を発揮しました。



その結果、2回の上映とトークに、延べ70人が参加し、アンケート協力者は30人、予想を超えるカンパも集まりました。アンケート結果を要約しますと、上映会を知ったのはチラシ、友人知人が圧倒的に多く、映画の評価は「良かった」が大多数でしたが、運営については定時進行など、いくつか苦言もありました。「また見たい」「人に勧めたい」が多数を占め、自主上映の声もあがっていました。

歴史に学ぶ学習講演会

1月22日、林伯燿さんを講師に

東灘区民センターで開催



日中関係がギクシャクし、市民レベルでの交流の重要性が強調される中で、林伯燿・旅日華僑中日交流促進会共同代表を講師とする歴史に学ぶ学習講演会が1月22日（日）午後2時から、東灘区民センターで開催されます。主催は林伯燿先生のお話を聞く会と九条の会・ひがしなだ。題して「中国人に生まれ、日本で生きて～在日中国人から見た戦争の真実～」。

林さんは1939年京都府北桑田郡宮島村（今の南丹市美山町のかやぶきの里近く）に生まれ、京大理学部で化学を専攻した俊才。コンサルティング会社に勤めた後、自営業で生活を支えながら中国と日本のかけ橋となって活動してきました。

父母や親せきの体験も含めて、自身が触れた1937年の南京大虐殺、1944年の華僑行商人弾圧事件、1945年の花岡事件などを通して、在日中国人から見た、あの戦争の実相を明らかにします。

問合せ先は080・1485・5603（西谷）

私の一言

「大本营発表」で日本は減んでいく

北嶋 佳寿子

「これって“不時着”“着水”って言うの？」——ここまで大破しているのに??? 在沖繩米軍トップのニコルソン司令官曰く「住宅上空を飛ばなかったことを感謝されるべき」「飛行士は英雄だ」!!! ここまで言われて安倍首相は「一時的に（米軍が）運行を止めてくれました」と。退却を「転進」と言い換えた、かつての大本营発表を思い出す。

オスプレイが12月13日午後9時30分ごろ、名護市安部の沿岸から約80メートルの浅瀬に墜落した。時あたかも79年前のこの日、旧日本軍は南京を占領した。大量虐殺があったことは事実なのに、認めるどころか、未だに「なかった」などという人を総理大臣として戴く、この日本という国。“受験生 新たな禁句 オスプレイ”と、笑ってばかりはいられない。

美しいヤンバルの森にある、高江のN1ゲートでは、おじい・おばあと村人・若者たちが、体を張ってオスプレイパッド建設に反対している。

私達のなすべきことは、新たな国づくり。米国に「ノー」と言える政府を作ること。

（東灘区森北町在住）

寄稿

平和遺族会にご連絡を 平和守るため力合わせて

徳本公子

〈※兵庫平和遺族会の会報「ピース」の発行責任者、徳本公子さん（明石市）から、カンパ付きの寄稿がありました。紹介します〉

いつも「九条の会・ひがしなだニュース」を送っていただき、有難うございます。拝読し、勉強させて頂いております。

私の父は、先の大戦で亡くなりました。1945年4月15日、フィリピンのルソン島バレテ峠で、頭部貫通銃創のため戦死した、との公報がありますが、実際のことは定かではありません。人を殺し、殺される戦争は、絶対に許せません。2012年、第2次安倍内閣の成立後、急速に戦争の足音が近づいています。

私は兵庫平和遺族会（平和を願い、戦争に反対する兵庫県戦没者遺族の会の略称）に属しています。自民党支持の日本遺族会に違和感を持っていましたので、思想信条を問わず、戦争に反対する者は、自由に会員になれる、ということで入会しました。今年の総会で集団的自衛権容認の閣議決定の撤回と安保法の廃止を求める決議をしました。会に関心のある遺族の方、ご連絡をお待ちしています。

（兵庫平和遺族会世話人 電話 078・917・0577）

平和随想

平和を望む人の魅力

風呂本武敏

英国BBC制作の「シェイクスピアと私たち」を見ました。その歴史劇や四大悲劇の主人公に、当時の現代史を読み取る優れた解説がありました。

文学には、アレゴリ（寓意物語）の伝統がギリシャ時代からあり、時代を変え、主人公を人間以外のものに変えても、そこに自分たちと同じ人間の姿の反映を見て、多くの教訓を汲み取ります。権力の亡者が、一時でも民の不幸に思いを致すことがあるというのは、考えるだけでも救われます。虎の威を借りる狐の失脚には、誰でも留飲をさげるものです。芝居の娯楽性と大衆性には、また、我が身を振り返る反省の毒も含まれます。毒は、量によっては致死性を発揮しますが、適量では浄化して病を治す力にもなります。

多くの行動的な政治家が、時には己の姿を鏡に映す時間に浸ることで、反省を身を慎む転回点とするか、それに目をつむり、さらに欠陥の拡大方向に進むか、まさに人生の岐路の典型を見せるのが、お芝居のもう一つの魅力だと思います。

（元神戸大学教授）

九条の会訪問記（その54） 昨年5月に新発足

西宮市北部憲法九条を守る会 アベ壊憲に危機感燃やして

2016年9月25日、九条の会全国交流討論集会で、「アベ政権の暴走、壊憲への危機感から、新たな九条の会の結成が相次いでいる」と、事務局から報告され、参加者を大いに勇気づけました。その実例が兵庫県にもあったのです。

西宮市北部憲法九条を守る会（略称：西宮市北部九条の会）がそれで、2016年5月22日呼びかけ人でもある元朝日新聞大阪本社の新妻義輔編集局長を講師に、塩瀬公民館で結成記念講演会を開催しました。続いて6月19日には、

JR西宮名塩駅前で、戦争法廃止の統一署名と入会お薦めキャンペーン。9月25日には、自民党から「つぶせ」と攻撃された沖縄の新聞社に密着したドキュメンタリー「なぜペンをとるのか」の上映会・・・と精力的。11月19日には、「九条の会」西宮ネットワークに名を連ね、「安倍内閣と日本会議」講演会の一翼を担って代表挨拶をするなど、横への連携も強めています。

規約によると、会は「呼びかけ人と事務局で運営する」となっているだけに、事務局は弁護士、作家ら5名の呼びかけ人との懇談会を開催するなど、気配りも見せています。



和歌山だより

足跡は残らんが、手の跡は残る

公庄 れい

たとえ雑巾一枚でも手仕事はその人の亡き後に残る、と私の古郷では言い慣わしてきた。私は84歳。残された時間はどのぐらいあるのか判らないが、その時間を手元にある大量の古い着物と布の処置にあてたい、と思っている。50年ほど前、ふとした事から着物専門の古着屋になり、20年ほど商った折の物が残ったままなのである。また、表地は洋服などに再生して、残された裏地がたくさんある。紅絹（モミ）や黄変してシミだらけになった白生地は、普通すべて捨てられる。ほぼ1世紀前に布として誕生したこれらは、化学物質の影響を受けていない水・太陽・空気・大地に育った蚕が吐いた絹である。特に裏地には、二つ繭（一つの繭に二匹以上の蚕が入ったもの）と呼ばれる二級品を、農家の女性が手で引いた糸が使われていることが多い。中に生命を抱く繭の特性をそのまま糸にして織られた布は、伸縮性・通気性に富み、どんな表にも馴染み、人の身体を優しく包む。この捨てられていく宝に、生命を吹き込むのが私の仕事。染めて裂いて織る。こうして新しい布にしておけば、またどこかで誰かが使ってくれる。それを信じて自ら時給50円と表明している仕事を続けていくのが、私に課せられた天命と、かたつむりの歩みに似た時を刻んでいる。 (孫たちの将来を案じるおばあちゃんの会)

催し案内

巡回写真展

～ 辺野古・高江は今

日時・二〇一七年一月七日

～ 一五日

会場・神戸学生センター

主催・沖縄に思いを馳せる会

電話・〇七八・八五一・二七六〇

編集後記

★つい先年まで、九条の会ひがしなだの会計担当として活躍されました金光宗夫さんが逝去され、12月20日に通夜、21日に告別式が営まれました。謹んでご冥福をお祈りします。(T)